



～誰もが暮らしやすい未来のために～ 「長岡京市 男女共同参画に関する市民意識調査」

◎この調査はパソコン・スマートフォンからも回答することができます。

右記二次元バーコードまたは下記 URL よりご回答ください。

URL: <https://src.webcas.net/form/pub/src2/XXXXXX>

QR コード

◇ID

◇パスワード

※上記の ID・パスワードは、二重回答を防ぐためのものです。この番号から個人を特定することはできません。

1. あなたについておたずねします

問1 あなたの性別は。(○は1つ) ※あなたが認識されている性別でお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. () |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

問3 現在、あなたはどなたと一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)

※あなたからみた続柄(義理関係を含む)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 配偶者(パートナー) | 2. 父、母 |
| 3. 子ども(子の配偶者を含む) | 4. 孫(孫の配偶者を含む) |
| 5. 祖父、祖母 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. その他() | 8. 同居者はいない(1人暮らし) |

問4 あなたにお子さんはいますか。(別居・同居は問いません)(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------|------|
| 1. いる | 2. いない | →問5へ |
|-------|--------|------|

問4で、「1.いる」と回答された方におたずねします。

問4-1 お子さんの年代は。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|-------------------|----------|
| 1. 0歳～就学前 | 2. 小学生 | 3. 中学生 |
| 4. 高校生 | 5. 大学生・大学院生・専門学校生 | 6. 1～5以外 |

問5 あなたの配偶者またはパートナーは、現在収入を得る仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------------|
| 1. している | 2. していない | 3. 配偶者・パートナーはいない |
|---------|----------|------------------|

問6 あなたの現在の職業は。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 農林業者 | 2. 商業・工業・サービス業などの自営業主 |
| 3. 自由業(開業医、芸術家、宗教家、弁護士など) | 4. 1～3の家族従業者 |
| 5. 会社・団体役員 | 6. 正社員・正職員 |
| 7. パート・アルバイト →問7～10へ | 8. 派遣社員 →問7～10へ |
| 9. 内職・在宅就業 →問7～10へ | 10. その他() |
| 11. 専業主婦(主夫)(収入を得る仕事をしていない) | 12. 学生(専門学校生、大学生など) |
| 13. その他の無職(年金生活者、失業中など) | |

問6で「11. 専業主婦(主夫)」、「12. 学生」、「13. その他の無職」に回答された方は、問11にお進みください。

2. 仕事についておたずねします

問7～問9は、問6で、「1～10」に回答された仕事をしている方におたずねします。

問7 あなたは、今の職場・仕事に不満や悩みがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 収入が少ない | 2. 労働時間が長い |
| 3. 休暇が取りにくい | 4. 能力が正当に評価されていない |
| 5. ハラスメントがある | 6. 仕事と家庭や個人の生活の両立がむずかしい |
| 7. 職場の人間関係がむずかしい | 8. 昇進や昇給などの待遇が男女で違う |
| 9. 女性が働き続けることに理解がない | 10. 会社や仕事の先行きが不安 |
| 11. その他() | 12. 特にない |

問8 働くことについて、今後どのようにしていきたいと考えていますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 今の職場で、管理職・役員をめざしたい |
| 2. 今の職場で、資格を取るなどして専門職として働きたい |
| 3. 今の職場で、非正規雇用から正規雇用に転換して働きたい |
| 4. 今の職場で、現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい |
| 5. 転職したい |
| 6. 起業したい |
| 7. 適当な時期に仕事を辞めたい |
| 8. その他() |
| 9. わからない |

問9 あなたご自身の令和5年中の年間収入(税込)はどのくらいですか。年金や資産収入などすべての収入を含めた額をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|------------------|
| 1. 103万円未満 | 2. 103～130万円未満 | 3. 130～250万円未満 |
| 4. 250～500万円未満 | 5. 500～750万円未満 | 6. 750～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | 8. 収入はない | 9. わからない |
| 10. 答えたくない | | |

問6で「1～6」に回答された方は、問13にお進みください。

問6で、「7. パート・アルバイト」、「8. 派遣社員」、「9. 内職・在宅就業」と回答された方におたずねします。

問10 現在の就労形態を選んでいる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 専門的な資格・技能を活かせるから
2. 自分の都合のよい時間に働けるから
3. 勤務時間や労働日数が短いから
4. 家計の補助、学費等を得たいから
5. 自分で自由に使えるお金を得たいから
6. 通勤時間が短いから
7. 正社員として働ける職場がなかったから
8. 家庭の事情(家事・子育て・介護等)と両立しやすいから
9. その他 ()
10. 特に理由はない

問6で、「11. 専業主婦(主夫)」、「12. 学生」、「13. その他の無職」と回答された方におたずねします。

問11 働くことについて、今後どのようにしていきたいと考えていますか。(○は1つ)

1. できるだけ早く雇用されて働きたい
2. 将来的には雇用されて働きたい
3. 自営・起業など雇用されずに働きたい
4. 働く予定はない
5. その他 ()
6. わからない

問11で、「1. できるだけ早く雇用されて働きたい」、「2. 将来的には雇用されて働きたい」と回答された方におたずねします。

問12 あなたが、仕事につきたいと思う上で困ったことや不安がありますか。(○はいくつでも)

1. 仕事の募集が少ない
2. 勤務時間や雇用形態、賃金などの労働条件が自分の希望と合わない
3. 自分の能力や適性に合った仕事が少ない
4. 就職に関する情報が得にくい
5. 自分にキャリアや資格がない
6. 仕事のブランクが長い
7. 乳幼児の子どもを預けられない
8. 介護や看護の必要な家族がいる
9. その他 ()
10. 特にない

全員におたずねします。

問13 あなたは、すべての人が性別にかかわらず、いきいきと働ける職場をつくるために、企業などは今後どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(○はいくつでも)

1. 育児休業や介護休業の制度を整備・充実する
2. 育児休業や介護休業が取得しやすい職場環境をつくる
3. テレワークや在宅勤務、短時間勤務制度など、柔軟な働き方を取り入れる
4. 有給休暇が取得しやすい職場の雰囲気をつくる
5. 結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる
6. 管理職に女性を積極的に登用する
7. 賃金や昇進などにおける男女の格差をなくす
8. 研修や能力開発の機会を充実する
9. 男女共同参画に関する意識向上のための研修を実施する
10. 職場におけるセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどをなくす
11. 企業内保育施設の設置など、子育て支援を充実する
12. 女性や若者、障がい者、高齢者などの雇用機会を拡大する
13. その他 ()
14. 特にない
15. わからない

3. 子育てや暮らしなどについておたずねします

問14 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考えをどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 |
| 5. わからない | |

問15 生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の優先度について、あなたの希望と現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○はそれぞれ1つ)

希望	1. 仕事	2. 家庭生活	3. 地域・個人の生活	4. 仕事と家庭生活
	5. 仕事と地域・個人の生活		6. 家庭生活と地域・個人の生活	
	7. 仕事と家庭生活と地域・個人の生活		8. わからない	
現実	1. 仕事	2. 家庭生活	3. 地域・個人の生活	4. 仕事と家庭生活
	5. 仕事と地域・個人の生活		6. 家庭生活と地域・個人の生活	
	7. 仕事と家庭生活と地域・個人の生活		8. わからない	

問16 あなたは、今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 労働時間短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
2. 男性が参加しやすい方法や場づくりをすること
3. 男性のための情報提供を行うこと
4. 男性が子育て、介護、地域活動などを行うための仲間づくりを進めること
5. 講習会や研修等を行い、男性の家事、子育て、介護の知識を高めること
6. 仕事中心の生き方や考え方を見直すための機会をつくること
7. 社会の中で、男性が家事などに参加することに対する評価を高めること
8. 事業主や企業に対して、仕事と生活の両立の重要性について啓発を行うこと
9. 職場における上司や周囲の理解を進めること
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問17 あなたは、家庭教育の中で男女平等の考え方を育むためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 協力しあって家事・子育てなどをする
2. 「男はこう、女はこう」というような性別によって役割を決めつける言い方はしない
3. 学校で実践されている男女平等教育に関心を持つ
4. 学校や行政が実施する男女平等に関する学習機会に参加する
5. 男女平等になっているので、家庭の中の男女平等を進める必要はない
6. その他 ()

問18 あなたは、男女平等を進めるために、小学校・中学校でどのような取り組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女平等の意識を育てる授業をする
2. 性別によって偏ることなく、個人の能力、個性、希望を大事にした進路指導をする
3. 小学校の低学年から自分の心とからだは大切なものという自尊感情を育み、いじめや暴力から自分を守る力を育てる
4. 男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える
5. テレビやインターネットなどの情報を読み解いて使いこなす力をつける教育を進める
6. 性の多様性への理解を進める
7. 校長や教頭に女性を増やしていく
8. 教職員への、男女平等教育に関する研修を充実する
9. 保護者会などを通じて保護者に男女共同参画の啓発をする
10. 男女平等の意識が備わっているので必要ない
11. その他 ()
12. わからない

問19 次の地域活動について、あなたの参加状況に近いものに○印をつけてください。

(①～⑤の項目ごとに○は1つずつ)

	参加したことがある・ 今後は参加したい	参加したことがある・ 今後は参加したくない	参加したことがない・ 今後は参加したい	参加したことがない・ 今後は参加したくない
① 自治会や町内会の活動	1	2	3	4
② PTAや子ども会の活動	1	2	3	4
③ 地域における文化・スポーツ・学習の活動	1	2	3	4
④ NPO(非営利団体)やボランティアの活動	1	2	3	4
⑤ 民生委員・市政協力委員など公的な立場での活動	1	2	3	4



問19で、「今後は(も)参加したくない」と回答された方におたずねします。

問19-1 それはどうしてですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 仕事が忙しいから | 2. 家事・子育て・介護で忙しいから |
| 3. 健康状態がおもわしくないから | 4. 活動に魅力がないから |
| 5. 人間関係がわずらわしいから | 6. 活動の情報が得られないから |
| 7. 参加するきっかけがないから | 8. あまり関心がないから |
| 9. その他 () | |

全員におたずねします。

問20 あなたは、心とからだの健康を保つために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 食生活や健康づくりに関する情報を提供する |
| 2. 安心して出産できるよう周産期医療体制を充実する |
| 3. 性別特有の病気などに配慮した外来の情報を提供する |
| 4. 悩みや不安を相談できる体制を充実する |
| 5. 暴力の被害者に対する支援体制を充実する |
| 6. リフレッシュできるような場を提供する |
| 7. 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習機会をつくる |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |
| 10. わからない |

問21 今後の大規模災害に備え、「性別による違い」に配慮した取り組みはどの程度必要だと思いますか。
(①～⑧の項目ごとに○は1つずつ)

	とても必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要ないと思う	全く必要ないと思う	わからない
① 防災計画の策定の場に男女がともに参加する	1	2	3	4	5
② 自治会や地域の自主防災組織の女性リーダーを増やす	1	2	3	4	5
③ 避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる	1	2	3	4	5
④ 避難所運営の責任者に男女がともに加わる	1	2	3	4	5
⑤ 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性(女性用品)に対する備えやニーズの把握、支給する際に配慮する	1	2	3	4	5
⑥ 男女のニーズの違いに応じた相談や情報提供を行う	1	2	3	4	5
⑦ 男女の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う	1	2	3	4	5
⑧ 発災後に増加が懸念される性暴力やDVへの対策を強化する	1	2	3	4	5

4. 人権の尊重についておたずねします

問22 人権が侵害されていると思うことはどのようなことですか。
(①、②それぞれに○はいくつでも)

	①女性の人権	②男性の人権
1. ドメスティック・バイオレンス(夫婦・パートナー間の暴力)やデートDV(恋人からの暴力)	1	1
2. セクシュアル・ハラスメント、マタニティ(パタニティ*)・ハラスメント	2	2
3. 雑誌、インターネットなどで女性(男性)の性が人格と切り離されて商品化されていること(児童ポルノ含む)	3	3
4. ストーカー行為	4	4
5. 売買春(援助交際含む)	5	5
6. 職場における待遇の男女格差	6	6
7. 男女の役割分担を固定化する考え方	7	7
8. 社会進出のための支援制度の不備	8	8
9. その他 ()	9	9
10. 特になし	10	10

※パタニティ・ハラスメント: 育休制度などを利用しようとする男性社員への嫌がらせ・不当な扱いのこと。

問23 あなたは、職場や学校、地域などにおいて次のような行為を受けたことがありますか。
(○はそれぞれいくつでも)

	職場	学校	地域
1. 年齢や容姿のことで傷つくようなことを言われる	1	1	1
2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされる	2	2	2
3. 結婚や異性との交流についてしつこく聞かれる	3	3	3
4. 異性に体をさわられた・卑猥な話を聞かされる	4	4	4
5. 交際や性的行為を強要される	5	5	5
6. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる	6	6	6
7. 妊娠・出産を理由に不当な扱いを受ける	7	7	7
8. しつこくつきまとわれる(ストーカー行為)	8	8	8
9. 上記のような経験はない	9	9	9

問24 あなたは、次の問題について知っていますか。(①～⑤の項目ごとに○は1つずつ)

	よく知っている	少しは中身を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない
① デートDV※	1	2	3	4
② デートレイプドラッグ※	1	2	3	4
③ リベンジポルノ※	1	2	3	4
④ JKビジネス※	1	2	3	4
⑤ AV出演強要※	1	2	3	4

※デートDV: 交際中のカップル間で起こる暴力のこと。相手を自分の思いどおりにコントロールしようとする態度や行動。殴る、蹴るだけでなく、ひどい言葉で傷つける、監視する、友達との交際を制限するなど「暴力」の種類は、様々です。
 ※デートレイプドラッグ: デートや飲み会ですすめられた飲食物に睡眠導入剤などが混入されており、意識を失ったところで性暴力にあう被害のこと。
 ※リベンジポルノ: 交際に撮影した画像や動画が、元交際相手によって同意なくインターネット上に公表されること。
 ※JKビジネス: 甘い言葉で誘われ、高収入アルバイトに応募すると、性的サービスを要求されたり、性暴力・ストーカー行為などの被害にあう危険性の高いアルバイトのこと。
 ※AV出演強要: モデル契約などと偽ってスカウトされ、半ば強引にアダルトビデオ(AV)への出演強要や、出演を拒否すると多額の違約金を請求されること。

問25 あなたは、LGBT※などセクシュアルマイノリティ(性的少数者)全般を指す言葉を知っていますか。
(○は1つ)

1. よく知っている	2. 少しは中身を知っている
3. 言葉は聞いたことがある	4. 知らない

※LGBT: L=レズビアン(女性同性愛者)、G=ゲイ(男性同性愛者)、B=バイセクシュアル(両性愛者)、T=トランスジェンダー(身体的な性別と生きようとする性別が異なる人)の頭文字を組み合わせたもので、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)全般を指す言葉として広く使われています。

問26 性的少数者の人権を守り、性の多様性を認める社会を実現するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 性的少数者の生きづらさや困りごとを社会的な課題として啓発する
2. 同性パートナーシップなど制度面の配慮を行う
3. 性的少数者に対する差別や人権侵害を禁止する条例などを制定する
4. 性的少数者のための相談窓口を設置する
5. 性の多様性について学校教育を充実する
6. 公文書などにおける性別表記に配慮する
7. 性別にかかわらず利用できる多目的トイレなどの設置を推進する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問27 本市の性の多様性に関する施策(啓発事業や制度)や、あなたやあなたの周りで性の多様性についての理解が進んでいると思いますか。(①～③の項目ごとに〇は1つずつ)

	進んでいる	どちらかといえば 進んでいる	あまり進んでいない	進んでいない	わからない
① 性の多様性に関する本市の施策	1	2	3	4	5
② あなた自身の性の多様性についての理解	1	2	3	4	5
③ あなたの周りでの性の多様性についての理解	1	2	3	4	5

アンケートはもう少しで終わります。
ご協力をお願いいたします。



問28 あなたはこれまでに、あなたの配偶者やパートナー、恋人から次のようなことをされたこと、あなたの配偶者やパートナー、恋人にしたことがありますか。

	されたことがありますか			したことがありますか		
	何度もあった	1～2度あった	まったくない	何度もあった	1～2度あった	まったくない
① 身体的な暴力 殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりする等	1	2	3	1	2	3
② 精神的な暴力 大声でどなる、長時間無視する、ののしる、脅迫する等	1	2	3	1	2	3
③ 性的な暴力 性行為を強要する、嫌がっているのにポルノ雑誌や動画などを見せる、避妊に協力しない、中絶を強要する等	1	2	3	1	2	3
④ 経済的な暴力 生活費を渡さない、仕事をして収入を得ることを制限する、相談なく無計画な借金をさせる等	1	2	3	1	2	3
⑤ 社会的な暴力 外出や親友・友人との付き合いを制限する、電話やメールを細かくチェックする等	1	2	3	1	2	3

問28で「何度もあった」、「1～2度あった」と回答された方におたずねします。

問28-1 あなたは、そのことを誰かに相談しましたか。(○はいいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 家族や親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 配偶者暴力相談支援センター | 4. 警察 |
| 5. 公的機関の相談窓口、電話相談など | 6. 学校関係者(教員・養護教諭・スクールカウンセラー) |
| 7. 医療関係者 | 8. 民間の専門家や専門機関(弁護士、カウンセリング機関など) |
| 9. その他() | |
| 10. 相談しなかったが、しなかった | 11. 相談しようと思わなかった |

問28-1で「10.相談しなかったが、しなかった」、「11.相談しようと思わなかった」と回答された方におたずねします。

問28-2 あなたが、相談しなかった、しようと思わなかったのはなぜですか。(○はいいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 相手の行為は愛情表現だと思ったから | 2. 自分さえがまんすればすむと思ったから |
| 3. 自分にも悪いところがあると思ったから | 4. 世間体が悪いと思ったから |
| 5. 相談するほどのことではないと思ったから | 6. 相談することで自分が傷つきたくなかったから |
| 7. どこに相談していいかわからなかったから | 8. 仕返しが怖かったから |
| 9. その他() | |

5. 困難な問題を抱える人についておたずねします

全員におたずねします。

問29 令和6年4月1日から「困難な問題を抱える女性※への支援に関する法律」が施行されました。あなたの周りで困難な問題を抱えている女性を見たり聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

※「困難な問題を抱える女性」とは「性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活に営む上で困難な問題を抱える女性(そのおそれのある女性を含む)」

1. 周りで見たことがある(知っている)

2. 見たことがない

→問30へ

問29で、「1.周りで見たことがある(知っている)」と回答された方におたずねします。

問29-1 あなたの周囲にいる女性が以下のような困難な問題を経験していることを、見聞きしたことがありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。(○はいくつでも)

1. 配偶者や元配偶者、交際相手からの暴力・暴言
2. 学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害
3. 親や兄弟、子からの暴力・虐待
4. 育児・家事の負担
5. 家庭不和(家族が抱える問題も含む)
6. 離婚問題(養育費問題も含む)
7. ストーカー被害
8. セクシュアル・ハラスメントや性暴力被害
9. リベンジポルノやAV出演被害
10. 経済的困窮(非正規雇用・多重債務など)
11. 家出、住居喪失
12. その他()
13. そのような経験はない

全員におたずねします。

問30 問29-1のような困難な問題を抱える女性が相談できる以下のような相談機関(窓口)があります。次の中から知っているものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 女性の相談室(長岡京市男女共同参画センター)
2. DV相談(長岡京市男女共同参画センター)
3. 女性のカウンセリングルーム(長岡京市男女共同参画センター)
4. 女性の法律相談(長岡京市男女共同参画センター)
5. 女性のための相談(京都府男女共同参画センター らら京都)
6. 女性相談(京都家庭支援総合センター)
7. 性犯罪相談ダイヤル「ハートさん」
8. ヤングテレホン(京都府警察本部少年サポートセンター)
9. 被害者カウンセリング(京都府警察本部)
10. ストーカー相談(京都ストーカー相談支援センター)
11. 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター(京都 SARA)
12. DV 相談ナビ・DV 相談プラス
13. 性暴力 SNS 相談(Cure Time)
14. どれも知らない

問31 女性が困難な状況から回復するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(特に必要だと思うものを3つまで○)

1. 困難な状況に気づいてくれる人の存在
2. 安心できる居場所
3. 支援制度や相談窓口、専門機関など自分の助けになるような情報を得ること
4. 実際に支援制度や相談窓口に助けを求めること
5. 弁護士や医師、カウンセラーなど専門的な知識を持っている人からのサポート
6. 経済的な自立
7. 経済的な自立に必要な支援や自立のためのスキルや資格
8. 一時的な経済支援
9. その他 ()
10. 必要なことはない

問32 もし、あなたが相談するとしたら、どのような方法や場所でしたいですか。(○はいくつでも)

1. 電話	2. メール
3. SNS	4. 学校(対面)
5. 支援機関(対面)	6. 自宅に訪問してもらう(対面)
7. 気軽に立ち寄れる場所で相談(対面)	8. その他 ()
9. 相談したり支援を受けたりしたいと思わない	

6. 男女共同参画社会についておたずねします

問33 あなたは、社会における次の分野において、男女が平等になっていると思いますか。
(①～⑧の項目ごとに○は1つずつ)

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
① 家庭生活では	1	2	3	4	5
② 職場では	1	2	3	4	5
③ 地域では	1	2	3	4	5
④ 社会通念・習慣・しきたりでは	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5
⑥ 政治・行政の場では	1	2	3	4	5
⑦ 学校教育の場では	1	2	3	4	5
⑧ 社会全般として	1	2	3	4	5

問34 あなたは、次の法律や言葉、長岡京市の取り組みを知っていますか。

(①～⑪の項目ごとに○は1つずつ)

	よく知 っている	少しは中 身を知 っている	言葉は聞 いたこ とがある	知らない
① 男女共同参画社会	1	2	3	4
② 長岡京市男女共同参画推進条例	1	2	3	4
③ 女性活躍推進法 働く場面で活躍したいという希望を持つ女性が活躍できるよ う、一定規模以上の企業等に取り組みを義務づけた法律。	1	2	3	4
④ 「えるぼし」※「くるみん」※「『京都モデル』ワーク・ライフ・ バランス認証」※などの認定制度 女性の活躍推進や仕事と子育ての両立支援について一定の要 件を満たした企業を国や京都府が認定する制度。	1	2	3	4
⑤ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3	4
⑥ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ (性と生殖に関する健康と権利)	1	2	3	4
⑦ ジェンダー	1	2	3	4
⑧ 積極的格差是正措置(ポジティブ・アクション)	1	2	3	4
⑨ 男女共同参画センター (女性の相談室・男性の電話相談)	1	2	3	4
⑩ 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律 (女性支援新法)	1	2	3	4
⑪ パートナリシップ宣誓制度	1	2	3	4

※「えるぼし」マーク



※「くるみん」マーク



※「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証



問35 長岡京市では、令和3年6月より「長岡京市パートナーシップ宣誓制度」を導入しています。この制度は、一人ひとりの人権が尊重され、多様な生き方や価値観を認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目的としています。あなたは、この制度についてどう思われますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. とても良い | 2. どちらかといえば良い |
| 3. どちらかといえば必要ない | 4. 必要ない |
| 5. 法律の改正で対応すべきだ | 6. わからない |

問36 問34で挙げたような制度や言葉、長岡京市の取り組みについて、よりたくさんの方に知ってもらうためには、どの広報活動が一番効果的だと思いますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. SNS 等を使った発信を充実させる |
| 2. イラストや漫画等を多く使った親しみやすい内容にする |
| 3. YouTube のショート動画等で簡単に概要を知ることができる広報を充実させる |
| 4. 駅やスーパーなど、目につきやすい場所へ広報を拡大する |
| 5. 広報紙や新聞に掲載する |
| 6. その他 () |

問37 あなたは、この5年間で次のようなことが、どの程度進んだと思いますか。

(①～④の項目ごとに○は1つずつ)

	前進した	前進した どちらかといえば	5年前と 変わらない	後退した どちらかといえば	後退した	わからない
① 男女平等の考え方	1	2	3	4	5	6
② 職場や地域などでの女性の活躍	1	2	3	4	5	6
③ 仕事と生活のバランスの実現	1	2	3	4	5	6
④ セクシュアル・ハラスメントや DV、児童虐待などあらゆる暴力への対応	1	2	3	4	5	6

問38 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、今後、長岡京市はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 政策の立案や方針決定の場への市民参画の促進
2. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
3. 保育施設・保育サービスや高齢者の施設や介護サービスを充実する
4. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
5. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
6. DVや児童虐待を根絶するための取り組みを進める
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

■ 男女共同参画社会実現のためのご意見など、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**9月30日(月)**までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)

調査へのご協力ありがとうございました。

